

平成二十八年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ・社会人特別入試）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

問題

次の文章は一九七九年に発表された論考からの抜粋である。地方分権と地域主義について論じたこの文章を読み、著者が問題の核心と見る二つの強調点を整理し、著者の思想の要点をまとめた上で、あなた自身はどのように考えるか、具体的な事例を挙げながら説明しなさい。

解答は、全体で八〇〇字以上、一二〇〇字以内でまとめなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(鶴見和子・新崎盛暉編、『玉野井芳郎著作集第3巻 地域主義からの出発』、学陽書房、一九九〇年、八二〜九三ページ、抜粋、一部改変)

【注釈】

〔注1〕 カタストローフ (catastrophe) : 破滅、破局、大変動。

〔注2〕 オールタナティブ (alternative) : 主流の生産様式や大量生産・大量消費型の資本主義とは異なる別の、代替の様式を追求すること。

平成二十八年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ・社会人特別入試）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

地方自治を思想的に支える地域主義をテーマとし、行政・経済のしくみとその歴史的背景、社会的な影響を総合的に考える社会科学的な関心領域に関する出題である。このような論説文の内容を正確に理解することは、本学科のアドミッション・ポリシーである①人間社会や社会諸科学への深い関心の有無を判断する目的に沿っている。また、自分自身はどのように考えるか、具体的な事例を挙げながら説明するように求める設問によって、本学科のアドミッション・ポリシーである②柔軟かつ総合的な思考力と③主体的に学ぶ意欲の有無を問う試験問題とした。